

## 平成 15 年度継続事業評価及び新規事業評価 (平成 16 年度新規分) 結果の概要

本県では、成果重視の行政運営を確立し、総合的に行政サービスの質の向上を図ることを目的に、平成 14 年度から政策評価システムを本格導入しております。

平成 15 年度は、県行政全般にわたる政策的な 1,416 の事業について、事業所管課の自己点検評価である継続事業評価（事後評価）を行い、また、新規事業の企画段階においても、予算編成に向けたサマーレビューの中で、有効性や必要性などの観点から新規事業評価（事前評価）に取り組みました。

## 1. 平成 15 年度継続事業評価結果の概要

- (1) 評価の実施時期 6 月～9 月（財政集中見直し期間中）
- (2) 評価実施部局 各部局（各部局の自己評価）
- (3) 評価対象事業数・評価結果

平成 14 年度実施事業及び平成 15 年度に新たに実施した事業  
 (1,416 事業)  
 ( 次の の事業は含まれていません )

各事業について平成 16 年度予算に向けての改善見直しの方向性を検討しました。（評価結果は平成 16 年度の施策や事業の展開に向け、予算編成に入る前の段階での方向性を示したものです。）

## 何らかの改善見直しを実施する予定の事業数 700 事業 (49%)

(内 訳)

廃止事業数	158 事業 (11%)
休止事業数	19 事業 (1%)
終期設定事業数	35 事業 (2%)
統合事業数	92 事業 (6%)
縮小事業数	108 事業 (8%)
改善事業数	288 事業 (20%)

## 引き続き見直しを検討する予定の事業数 716 事業 (51%)

平成14年度実施事業のうち平成14年度で廃止・休止となった事業  
(155事業)

平成14年度で廃止・休止となった事業については、事業の成果等、これまでの事業の総括を行い、廃止・休止の理由とあわせて各評価シートにその内容を記載してあります。

資料1「平成15年度継続事業評価結果一覧」参照

## 2.平成15年度新規事業評価(平成16年度新規分)結果の概要

- (1)評価の実施時期 9月～11月
- (2)評価実施部局 各部局の自己評価(1次評価)及び総合政策室評価(2次評価)
- (3)評価対象事業数 310事業
- (4)評価結果

担当部局評価(1次評価) (内 訳)	事業の優先度を3段階評価
AAA評価事業数	121事業(39%)
AA評価事業数	121事業(39%)
A評価事業数	68事業(22%)
総合政策室評価(2次評価) (内 訳)	評価区分は次表のとおり
A評価事業数	51事業(16%)
B評価事業数	203事業(66%)
C評価事業数	56事業(18%)

### 2次評価区分

- [A]・・・有効性、必要性等が認められ、実施に向けて一定の熟度に達している事業
- [B]・・・ある程度有効性、必要性等は認められるが、実施に向けて精査すべき問題や課題がある事業
- [C]・・・有効性、必要性等に疑問がある事業

資料2「平成15年度新規事業評価結果一覧(平成16年度新規分)」参照

## 3.公表の方法

評価結果の概要及び全ての評価シートを県のホームページ(<http://www.pref.tokushima.jp>)及び県民サービスセンター(県庁1階、各合同庁舎)等で公表しております。

## 評価結果の平成16年度当初予算への活用状況

1.平成15年度継続事業評価の予算への活用状況

平成15年度継続事業評価は、既存事業の改善見直しや平成16年度予算に向けての方向性を各部局で評価・検証したものです。

評価結果は平成16年度予算編成の中で、更に精査が行われた結果、全体の86%の事業について予算上の改善見直しが行われております。特に平成15年度はゼロベースの視点による見直しにより、廃止が全事業の15%と平成14年度より大幅に増加しております。

資料3「平成16年度予算措置結果一覧(平成15年度継続事業)」参照

2.平成15年度新規事業評価(平成16年度新規分)の予算への活用状況

平成15年度新規事業評価(平成16年度新規分)は、各部局から提案された310事業の新規事業について、平成15年11月の時点で平成16年度予算に向けての方向性を評価・検証したものです。

評価結果を踏まえ、平成16年度予算編成の中で、事業内容や仕組みの改善等更に検討が加えられ、216事業が予算化されております。

評価対象事業数、予算措置事業数とも、平成14年度より大幅に増加し、既存事業についての大幅な見直しを踏まえ、新たな課題への対応が行われた結果となっております。

資料4「平成16年度予算措置結果一覧(平成16年度新規事業)」参照